

解禁日：平成27年1月30日（金）15時

プレス発表資料



JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE

日本学術振興会

平成27年1月30日
独立行政法人日本学術振興会

第5回 日本学術振興会 育志賞の受賞者決定（18名が受賞）

独立行政法人日本学術振興会（理事長：安西祐一郎）は、本会に設置されている育志賞選考委員会（委員長：佐々木毅 国土緑化推進機構理事長）の選考に基づき、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生18名を日本学術振興会育志賞受賞者として決定しましたので、お知らせいたします。

1 育志賞について

日本学術振興会は、天皇陛下の御即位20年に当たり、社会的に厳しい経済環境の中で、勉学や研究に励んでいる若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、平成21年11月に御下賜金を賜りました。

このような陛下のお気持ちを受けて、本会では、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士後期課程学生を顕彰することで、その勉学及び研究意欲を高め、若手研究者の養成を図ることを目的として、平成22年度に「日本学術振興会 育志賞」を創設し、今回が第5回目となります。

本賞については、公募した結果、大学長または学術団体（学会）の長から157名の大学院博士課程学生の推薦があり、大学長経験者等の有識者にて構成される選考委員会で厳正な審査が行われ、受賞者18名を決定しました。

受賞者名簿は、別紙1の通りです。

2 授賞式等について

平成27年3月4日（水）に日本学士院（東京都台東区上野公園7-32）において、育志賞の授賞式を行う予定です。

受賞者には、賞状、賞牌および副賞（学業奨励金110万円）が贈呈されます。

（お問い合わせ）

独立行政法人日本学術振興会

人材育成事業部長 舟橋 徹、研究者養成課長 箕作 康志

電話： 03-3263-4934

第5回（平成26年度）日本学術振興会 育志賞受賞者一覧

受賞者氏名 (性別)(年齢) (国籍・外国籍のみ)	所属機関 (所属研究科 所属専攻)	推薦機関	博士課程の研究課題
あきば たくや 秋葉 拓哉 (男)(25)	東京大学 (情報理工学系研究科 コンピュータ科学専攻)	情報処理学会	大規模ネットワークに向けたアルゴリズムの ための体系的アプローチの確立と実証
うえだ やすし 上田 泰史 (男)(29)	東京藝術大学 (音楽研究科 音楽文化学専攻)	東京藝術大学	1850年代から80年代のバリ国立音楽院にお けるピアノ教育—レパートリー規範の成立過 程とその諸要因
うの しんのすけ 宇野 真之介 (男)(29)	東京大学 (医学系研究科 生体物理医学専攻)	日本ケミカルバイオロジ 学会	分子内スピロ環化平衡に基づく超解像蛍光イ メージングプローブの創製
おばた ゆうき 尾畑 佑樹 (男)(27)	千葉大学 (医学薬学府 先端医学薬学専攻)	千葉大学 日本免疫学会	消化管における免疫制御メカニズムの解明
くぼ たかひろ 久保 雄広 (男)(27)	京都大学 (農学研究科 生物資源経済学専攻)	「野生生物と社会」学会	野生動物との軋轢緩和に向けた社会科学的シ ナリオ分析
くまがい しょうご 熊谷 将吾 (男)(27)	東北大学 (環境科学研究科 環境科学専攻)	東北大学	熱分解法による難リサイクル性高分子の フィードストックリサイクル
くまざき かおる 熊崎 薫 (男)(26)	東京大学 (理学系研究科 生物化学専攻)	日本蛋白質科学会	膜タンパク質YidCによるタンパク質膜組み込 み機構の構造基盤の解明
さとう ほなみ 佐藤 峰南 (女)(26)	九州大学 (理学府 地球惑星科学専攻)	九州大学	三疊紀における巨大隕石衝突記録と環境変動 の解明
すぎうら しょう 杉浦 祥 (男)(26)	東京大学 (理学系研究科 物理学専攻)	東京大学 日本物理学会	熱的量子純粋状態を用いた統計力学の定式化
すすき わかな 鈴木 和歌奈 (女)(32)	大阪大学 (人間科学研究科 人間科学専攻)	日本文化人類学会	抵抗と調整：再生医療の技術開発をめぐる民 族誌的研究
たつみ まさこ 巽 昌子 (女)(28)	お茶の水女子大学 (人間文化創成科学研究科 比較社会文化学専攻)	お茶の水女子大学	日本中世における相続と「処分状」の研究
たなか そうた 田中 草大 (男)(26)	東京大学 (人文社会系研究科 日本文化研究専攻)	訓点語学会	変体漢文を中心とする日本語文体史の研究
なかはた まさき 中畑 雅樹 (男)(26)	大阪大学 (理学研究科 高分子科学専攻)	大阪大学	マクロスケールでの自己組織化と外部刺激制 御を融合した新規機能性超分子材料の創製
なかむら きょうへい 中村 恭平 (男)(31)	東北大学 (医学系研究科 医科学専攻)	東北大学	細胞間膜分子移動を介したNK細胞の運命制御
はやかわ たかし 早川 卓志 (男)(26)	京都大学 (理学研究科 生物科学専攻)	日本霊長類学会	霊長類の苦味受容体遺伝子レパートリーの分 子進化と生態適応機構の解明
まがた ふみえ 真方 文絵 (女)(31)	帯広畜産大学 (畜産学研究科 畜産衛生学専攻)	日本繁殖生物学会	乳牛の子宮内膜炎における感染細菌由来エン ドトキシンによる卵巣機能障害の解明
ましま いづみ 眞島 いづみ (女)(31)	北海道医療大学 (歯学研究科 歯学専攻)	北海道医療大学	口腔バイオフィルム初期形成期の分子生物学 的制御法の開発
り くあんちん 李 光琴 (女)(29)(中国)	京都大学 (理学研究科 化学専攻)	錯体化学会	金属ナノ粒子と多孔性金属錯体のハイブリッ トによる革新的機能の創出

※年齢は平成26年4月1日現在、所属機関は平成26年5月1日現在

「日本学術振興会 育志賞」の概要

— 優秀な大学院博士後期課程学生の顕彰・支援 —

【1. 趣旨】

日本学術振興会は、天皇陛下の御即位20年に当たり、社会的に厳しい経済環境の中で、勉学や研究に励んでいる若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、平成21年11月に御下賜金を賜りました。

このような陛下のお気持ちを受けて、本会では、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士後期課程学生を顕彰することで、その勉学及び研究意欲を高め、若手研究者の養成を図ることを目的として、平成22年度から「日本学術振興会 育志賞」を創設することとしました。

【2. 対象者】

- ① 大学院における学業成績が優秀であり、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでいる大学院生であって、当該大学長から推薦された者
 - ② ①に相当する大学院生であるとして所属する学会長から推薦された者
 - ③ ①及び②の者は、平成26年5月に大学院博士後期課程に在学する34歳未満の者であること
- ※ 外国人留学生も対象とする

【3. 授賞数】

授賞総数は、16名程度

【4. 選考基準】

学業成績が優秀で、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでおり、次の①又は②を満たすこと。

- ① 我が国の学術研究の将来を担う研究者となりうる卓越した能力を有しており、将来学界等への貢献が期待されること
 - ② 将来、更なる研究の発展が見込まれ、卓越した研究者に成長していく可能性を有していること
- ※ 上記①、②に該当する者の例
- 発想・着想、課題設定などにおいて、創造性・独創性が高い研究に主体的に取り組んでいる者
 - 当該学問領域や学際領域における重要な基盤となる研究に主体的に取り組んでいる者

- 研究活動に関連する、ユニークな活動に主体的に取り組んでいる者
- きびしい研究環境の下でも創意工夫を凝らして、主体的に研究を進めている者
- 短期的には論文等の成果が出にくい研究に対して、忍耐強く取り組んでいる者

【5. 選考方法】

推薦のあった候補者について、日本学術振興会に設置する選考委員会において、書類選考により面接選考対象者を決定し、面接選考を経て授賞者を決定する。

【6. 賞】

受賞者には、賞状、賞牌及び副賞として学業奨励金110万円を贈呈する。

【7. 受賞後の取扱い】

受賞者は、「日本学術振興会 特別研究員（DC）」等として採用し、翌年度から研究奨励金（DCの場合月額：20万円）を支給する。

【8. スケジュール】

平成26年	3月14日	推薦公募
	6月11日～13日	推薦受付
	7～9月	予備審査（書面）
	11月10日	予備審査（面接・理工系）
	11月13日	予備審査（面接・人社系）
	12月1日	予備審査（面接・生物系）
平成27年	1月6日	選考委員会
	3月4日	授賞式

日本学術振興会 育志賞 選考委員会委員名簿

(敬称略)

	氏名	所属機関・職
委員長	佐々木 毅	国土緑化推進機構理事長
	安藤 恒也	東京工業大学大学院理工学研究科特命教授
	河田 悌一	日本私立学校振興・共済事業団理事長
	郷 通子	名古屋大学名誉教授
	清水 孝雄	国立国際医療研究センター理事・研究所長
	白井 克彦	放送大学学園理事長
	西澤 直子	石川県立大学生物資源工学研究所教授
	平野 眞一	名古屋大学名誉教授
	鷺田 清一	大谷大学文学部教授